



朝風

平成31年度
学校報No.13
令和元年7月5日
大仙市立
大曲南中学校

先生と生徒の笑顔が印象的

～高知県仁淀川町教育視察団来校～

学校経営説明



一年生国語の授業



茶室での茶道体験



7月4日、高知県仁淀川町の教育委員会の方々や、同町内の中学校の先生方7人が本校を視察のために訪れました。仁淀川町の中学校と同規模の学校で、成果を上げている秋田県内の学校を視察したいとのことで、本校を選んでくださったよう

です。学校経営について説明した後、全学級の6校時の授業を参観していただきました。また、授業後に行った協議では、「全ての学級で、生徒も先生も笑顔で、安心感や信頼感がある中で授業が行われている。」「歌声、相手の話を聞く姿勢等、学びに対する意欲が感じられる。」「授業の流れ

がわかるような工夫がされているし、生徒の主体的な学びを促す教師の的確な問いかけもあった。」等の感想を伺いました。また、日々の学びの成果を認める廊下掲示や、生徒が毎日取り組んでいる自学が参考になったとの声もありました。最後には、茶室で佐々木結衣(2年生)さんと伊藤叶桃(3年)さんがたてたお茶を召し上がっていただきました。

保健集会 ～メディアが脳に及ぼす影響～



7月3日、保健委員会主催の生徒集会が行われました。テーマは、「メディアが脳に及ぼす影響」についてでした。初めに長時間のメディア利用が脳に悪影響を与えていることを保健委員が説明し、それを受けて近くの人たちで話し合い、感想発表をしました。

ちなみに、川島隆太氏(東北大学加齢医学研究所長)による調査によると以下のような結果が出されています。

- * 家庭で毎日2時間以上勉強していても、携帯・スマホを3時間以上使用すると、携帯・スマホを使用せず、かつほぼ勉強しない生徒より成績が低い。
 - * 家庭で勉強しない生徒たちは、携帯・スマホを1時間以上使用すると使用時間の長さ按比例して点数が低くなっている。
- ⇒ 学力低下の要因は勉強時間や睡眠時間の長短ではなく、携帯・スマホを長時間使ったことが直接影響している可能性がある。

メディアが脳に及ぼす影響の大きさを知り、それに今後どう向き合っていくかを考えるよい機会となりました。この経験を、今後の生活に生かしてくれることと思います。